

ベトナム・バクニン省、FDI 誘致と半導体産業の成長

2025 年 3 月 4 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 外国直接投資 (FDI)

ベトナム・バクニン省、FDI 誘致と半導体産業の成長

ベトナム・バクニン省は、2025 年 1 月の外国直接投資 (FDI) 誘致で全国をリードし、総額 14.2 億米ドルを集め、前年同期比で 6 倍に増加した。全国の FDI 登録額は約 43.3 億米ドルで、前年同期比 46.8%増、実際の投資額は 15.1 億米ドルで 2%増加した。

バクニン省の FDI の中心は半導体産業であり、クーラーマスター社はエヌビディアの供給拠点として 1.25 億米ドルを追加投資し、2025 年第 2 四半期からの操業を予定している。さらに、イエンフォン II-C 工業団地にはアムコー・テクノロジーが半導体製造拠点を構築し、2035 年までの段階的拡張を計画している。また、ゴアテック社は 4 つのプロジェクトに計 13 億米ドルを投資し、2025 年にはさらに事業を拡大し、約 6 万人の雇用を創出する予定である。

バクニン省の工業団地には、最新のインフラと安定したエネルギー供給が整備されており、ハイテク企業の厳しい要件を満たしている。現在、ジアビン工業団地では 13 件の FDI プロジェクトが進行中で、総投資額は約 4 億米ドルに達し、その 40%がハイテク企業である。さらに、政府は研究開発拠点の設立を促進し、現地の技術力向上を支援している。

バクニン省は、先進的な工業インフラ、安定したエネルギー供給、質の高い人材、迅速な投資手続きといった優位性を活かし、今後も国内外の投資家にとって魅力的な投資先としての地位を確立し続ける見込みである。

以上